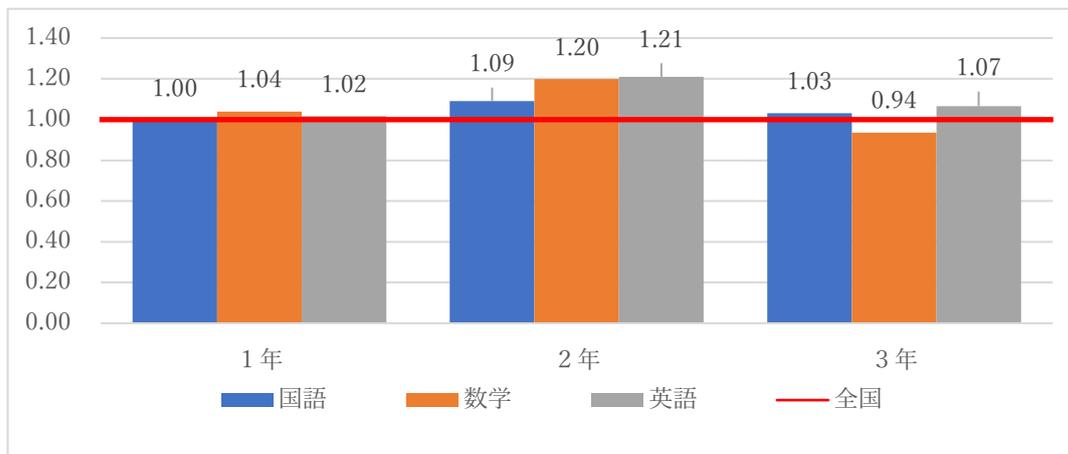


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第四中学校区 第四中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	全国平均と同じもしくは上回っていた。「話すこと・聞くこと」領域の問題で課題が見られた。今後はスピーチ課題などに取り組みながら改善を図る。
	数学	1, 2年生共に全国平均を上回った。「データの活用」領域に課題が見られるので、今後はその数値が何を表すのか、資料から読みとったことを説明しあう時間を設けながら改善を図る。
	英語	1, 2年生共に全国平均を上回った。新出単語や文法の定着を図り、自分の考えを言ったり、書いたりする課題を設定しながら、活用の問題にも対応できるようにする。
全国学力・学習状況調査	国語	全国平均を上回った。短文課題や振り返り等で、字数制限を設けて記述する機会を増やし、自他の文章に対して推敲する課題を通して、「文章比較」の機会を設けながら記述問題の改善を図る。
	数学	「図形」領域が全国平均を上回った。「関数」領域に課題が見られ、表やグラフから、必要な情報を適切に取り取り、問題解決の方法を数学的に説明する問題を取り扱いながら改善を図る。
	英語	3領域(聞く・読む・書く)や3観点すべてにおいて全国平均を上回った。今後は長文の読解などで要点を見つけ、その内容に対する自分の考えを記述する機会を設けていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に平日、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか」の1時間以上の割合が全国平均を大きく上回った。読書週間の設定をはじめ、日々の読書活動を活発に行っていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

以下の取組を通して、9年間の段差のない、絶え間ない学力向上をめざす。

- ・全国学力テスト・到達度テストの結果を持ち寄り、共通の課題を見つけ、校区学力部会で改善策を検討する。「自主学習ノート」の取組も校区として継続し、改善・検討する。
- ・各部会で課題を出し合い、小中合同で研究授業や授業公開を行い、指導改善につなげる。
- ・少人数・専科・統合・小中連携教科指導加配教員や数学科教員との交流をすすめ、算数・数学の授業改善を図る。
- ・ディベートを含め、各教科9年間を見通したカリキュラムの作成・点検・改善を行う。

【学校】

学習内容の完全習得を目指して、以下の取組を行っている。

- ・少人数習熟度別学習（2・3年生の数学・2年生の英語各週1時間1クラス3分割）で、1クラス約8人の教員が関わり、理解度に応じて学習内容の定着を図る。
- ・1年生の数学で演習の時間（週1時間）を設定して、約3人の教員が関わり、基礎基本の確実な定着を図る。
- ・形成テストの補習を、水曜日放課後に実施し、基礎基本の授業内容を完全に習得させる。
- ・5教科の授業開始時に、5分間で完結する小テスト（主に前時の復習）を実施し、各教科の学力向上に結びつけている。